

4. 第2期計画の取り組み

(1) 特定健康診査受診率の向上

特定健康診査の未受診者情報を分析し、効果的な受診勧奨により、受診者の増加を図ります。

(2) 糖尿病の発症・重症化予防

特定健康診査結果において、高血糖要治療判定の人を対象に、健診結果説明会や、電話や家庭訪問による保健指導を実施します。また、食生活・運動などについての講義・演習・実技のほか、血液検査による中間評価を行う健康教育事業を実施します。

特定保健指導に加え、これらを重点的に実施することで、糖尿病・糖尿病合併症の重症化予防を図ります。

(3) その他の国保保健事業の推進

- ◇ 40歳未満の生活習慣病予備群の方への保健指導を進めていきます。
- ◇ 専門医・かかりつけ医・市が互いに連携、協力した、糖尿病性腎症重症化予防を推進していきます。
- ◇ 広く虚血性心疾患予防の啓発に努めていきます。

5. 特定健康診査を受けましょう

次の4つのうち1つを選んで受診してください。

名称	制度の概要
(1) 総合検診 (集団健診)	◆毎年、5～6月にかけて、館山市コミュニティセンター・若潮ホール・西岬市民体育館を会場に、地区ごとに実施日を設定して実施している健診です。 ◆がん検診（胃がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・肺がん）を同時に受診できる「総合検診」として、対象となる方に、総合検診個人票を送付しています。
(2) 人間ドック	◆より詳しい検査を受けたい方が、医療機関で人間ドックを受診される時に、検査費用の7割（上限額2万円）を助成しています。
(3) 施設健診 (個別健診)	◆毎年、6～12月にかけて、安房郡市内の契約医療機関で個別に健診を受けることができます。直接、医療機関を予約し、総合検診個人票を持参の上、受診してください。
(4) 検査結果連絡票	◆市が契約する医療機関において、特定健康診査の検査項目を満たした検査を受けた場合、検査結果連絡票を使用し、市に結果を報告していただける場合、特定健康診査を受診したものとみなされます。

館山市国民健康保険

第2期保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）

館山市健康福祉部市民課・健康課 平成30年3月

館山市国民健康保険

第2期保健事業実施計画（第2期データヘルス計画） 概要版

1. データヘルス計画での取り組み

館山市では、診療や健康に関する詳細なデータを活用し、市民の皆さんの健康づくりを進めるため、平成35年度（2023年度）までに取り組む内容を第2期データヘルス計画としてまとめました。

(1) 市の取り組み

市民の皆さんが生活習慣病の発症・重症化を予防することができるように、次のことに取り組みます。

- ① 特定健康診査を受けていない人に、文書や電話、家庭訪問等で受診をお勧めします。
- ② 健診結果から生活習慣の改善や治療が必要な人へ保健指導や健康教室を実施します。

(2) 市民の皆さんにお願い

- ① 特定健康診査を受診しましょう。
- ② 特定保健指導を活用しましょう。
- ③ 健診結果で「受診（精密検査）が必要です」と判定されたら、まずは医療機関を受診しましょう。
- ④ 保健指導や健康教室に積極的に参加しましょう。



(3) 一人ひとりが生活習慣病の発症や重症化を予防することができたら・・・

・健康は生活を支える財産です。

生活習慣病は、進行するまで自覚症状がありません。特定健康診査を毎年受けて、健診結果の変化を確認し、生活習慣を見直すことで、健康で元気に生活ができます。

・家計にお得です。

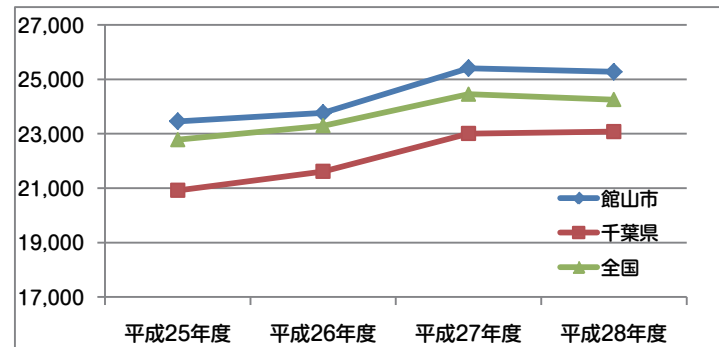
特定健康診査を受ける人が増えて、みんなが生活習慣病を予防できれば、将来的に医療費の増加を抑制することができ、家計の負担を軽減することにつながります。

2. 館山市の現状

(1) 1人当たりの医療費が増加傾向

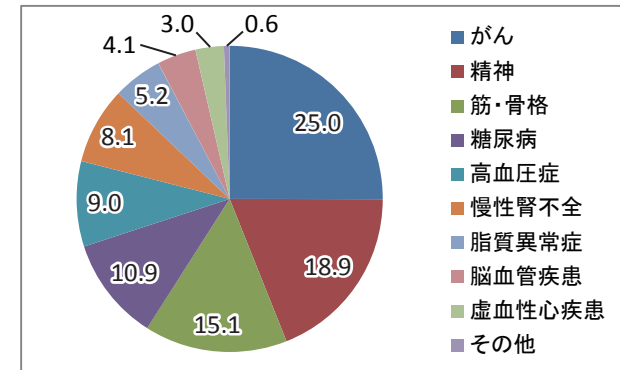
館山市の国保被保険者の1人当たり・1月当たりの医療費(医科)は、25,000円前後となっており、増加傾向にあります。平成28年度における医療費内訳をみると、生活習慣病にかかる医療費が全体の4割を占めており、上位には糖尿病、高血圧症、慢性腎不全があります。とりわけ、慢性腎不全から末期腎不全に至ると必要となる人工透析は、医療費を押し上げる要因となります。

被保険者1人当たりの医療費の推移〔国保・医科〕 (単位：円)



資料：ここに掲げるグラフデータは、国保データベース(KDB)システムから抽出しました。

医療費内訳 (平成28年度) (単位：%)



(2) メタボリック・シンドローム該当者・予備群の割合が増加

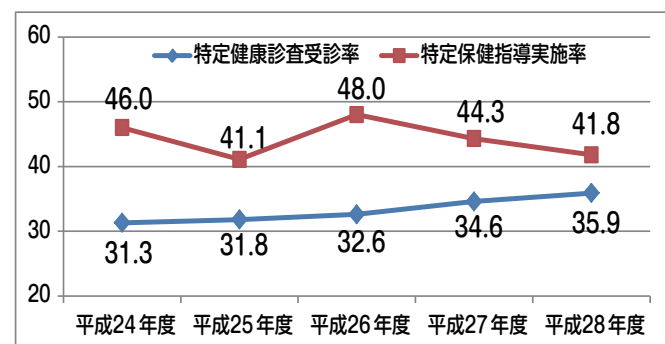
特定健康診査は、「メタボリック・シンドローム」(内臓脂肪症候群)に着目し、40～74歳の生活習慣病の早期発見・早期対応を図るための健康診査です。

館山市の国保被保険者の特定健康診査の受診率は、直近の平成28年度で35.9%と低く、未受診者を減らしていくことが求められます。

また、「メタボリック・シンドローム」の該当者・予備群と判定された方は、直近の平成28年度で男性が41.9%、女性が16.0%となっています。

「メタボリック・シンドローム」の該当者には「積極的支援」、予備群の人に「動機付け支援」と呼ばれる特定保健指導を実施していますが、その実施率は、平成28年度で41.8%に留まっています。

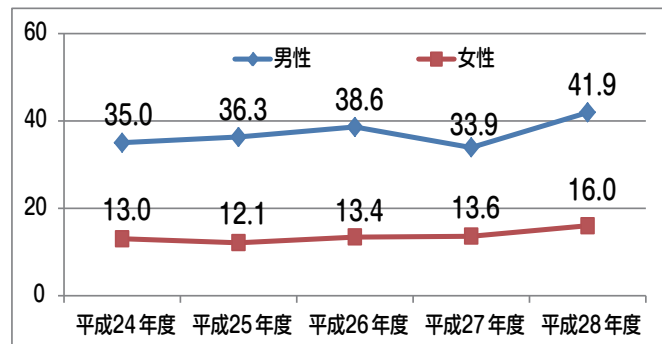
特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率の推移



※法定報告値

(単位：%)

メタボリック・シンドローム該当者・予備群の割合



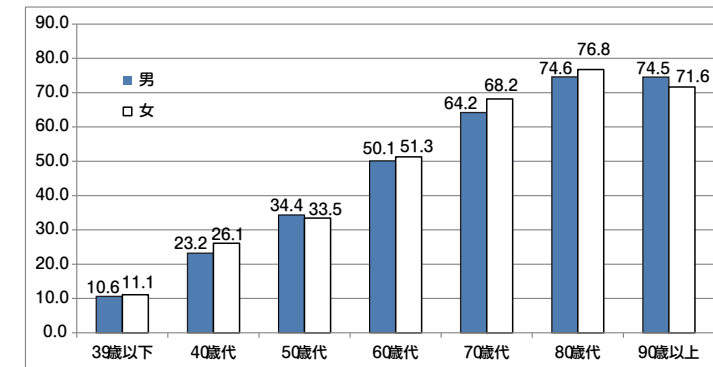
(単位：%)

3. 生活習慣病の状況

(1) 増える生活習慣病保有者率

年齢別に生活習慣病保有者率をみると、男女とも40歳代で20%台、50歳代で30%台、60歳代で50%前後の方が生活習慣病を保有しており、50歳代から60歳代にかけて大きく保有者率が上がります。

館山市の生活習慣病の保有者率 (単位：%)

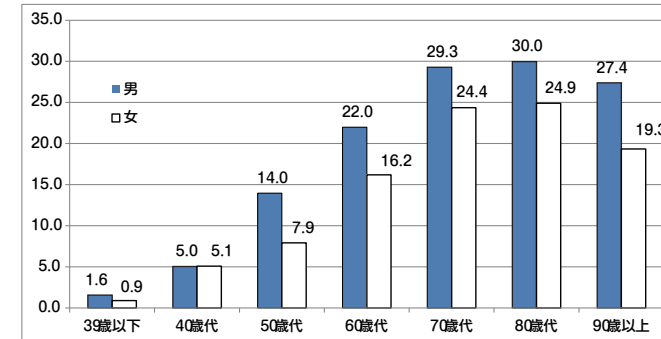


(2) 全国平均を超える糖尿病合併症

糖尿病は、すい臓から出るインスリンの分泌が少なくなり、高血糖状態が続くことで、血管を痛め、がん、心臓病、脳疾患などを併発しやすくするほか、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症に至る疾病です。

館山市の保有者率は下の左のグラフのとおりで、加齢とともに、保有者は増えていきますが、30～50歳の発症もみられる状況です。また、患者千人当たりの糖尿病合併症患者数をみると、館山市は全国平均を大きく上回っているのに加え、平成24年度から28年度にかけて、糖尿病性腎症と糖尿病性網膜症の保有数が増加しており、糖尿病合併症が本市の大きな課題であると言えます。

館山市の糖尿病の保有者率 (単位：%)



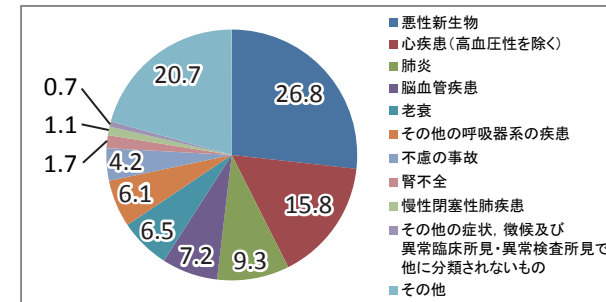
患者千人当たり糖尿病合併症患者数 (単位：人)

	館山市	全国
平成24年度		
糖尿病性腎症	24	15
糖尿病性網膜症	23	17
糖尿病性神経症	9	8
平成28年度		
糖尿病性腎症	27	18
糖尿病性網膜症	25	18
糖尿病性神経症	9	8

(3) 生活習慣病は介護・死亡の大きな原因

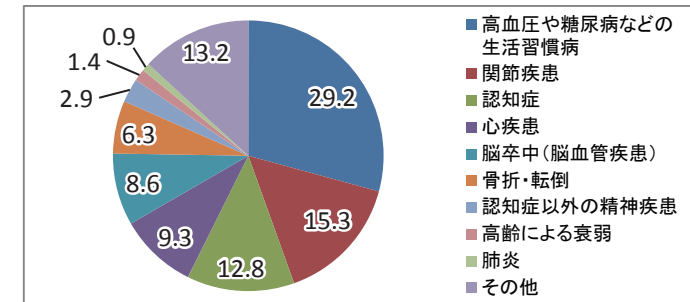
死因や要介護の原因をみても、生活習慣病の割合が高くなっています。

死因となった疾患 (単位：%)



※千葉県ホームページより

65歳以上の要介護の原因疾患 (単位：%)



※館山市高齢者福祉課より